

奥沢地区の催し物ご案内

日時	内容	時間・場所等
4月7日(日)	奥沢交和会お花見交流会	10:30~13:00 区立奥沢公園(雨天中止)
4月8日(月)	奥沢小学校・東玉川小学校入学式	奥沢小学校・東玉川小学校
4月9日(火)	奥沢中学校入学式	奥沢中学校

※3月7日現在の情報で作成しています。詳細はお問い合わせください。

~「いつまでも住み慣れたまちですこやかに暮らすために」~

【あんしんすこやかセンターです ご自分のことやご家族に関する困りごとはありませんか】



個人情報に配慮して掲載しています

加齢と共に心身が衰えていく過程には、健康な状態と要介護状態の間となる期間が存在します。この中間時期のことを「フレイル」と言います。奥沢あんしんすこやかセンターでは、フレイル予防のための介護予防活動等の様々な取り組みを行なっております。特に今年度は新たなことに力を入れ、多くの挑戦をしてみました。地域の皆様からの応援を受け、認知症の方々が襷を繋いだ「RUN 伴+」(ラントモプラス)では、散歩中の親子や玄関先から応援して下さる方もおられ、地域全体が大いに盛り上がりました。

【RUN 伴(ランとも)は、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症の人や家族、地域住民、医療・福祉関係者の方々と一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するプロジェクトです。】

また地域の学校とタッグを組み多世代交流の場の実現を図った「オクサワ音楽交流会」。学生有志による演奏から、音楽を通し多世代の交流ができる居場所づくりを行ないました。

これらの取り組みができたのも、地域の方々のご協力があったからできたことだと感じております。大変、感謝申し上げます。来年度も様々な活動に挑戦し、地域のさらなる発展に貢献できるよう精進してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



あんしんすこやかセンター
mail : okusawa-houkatu@foryou.or.jp
Tel. 03-6421-9131)



〈寄付・募金報告〉
~ありがとうございます~
本年度の累計額 61,021円

皆様よりいただいた寄付金は、奥沢地区社会福祉協議会が行なうインボディ測定会、ココロン椅子の設置などの事業に活用させていただきます。



編集後記
数えてみれば創刊してから17年経って本誌も第50号となりました。五里霧中で始めた編集作業でしたが、読んでくださる方たちに何をどのよう伝えたいのか、という視点を大切にして繰り返した掲載記事の検討、原稿依頼や編集委員の執筆、社協の進めてきた数々の事業をもれなくお伝えするツールとしての役割を果たしてこられたでしょう。時代のうつりかわりで印刷方法も変化し、紙面構成に於いての経験知も少しずつ積み上げてきて紙面がよみやすくなったという進化も実感しつつ、質の良い広報紙とは？という探求も必要だと感じる昨今ではあります。皆様からのお読みになった感想等お待ちしております。

2024年3月20日発行

第50号



発行：奥沢地区社会福祉協議会 東京都世田谷区奥沢3-15-7 奥沢まちづくりセンター内
本紙掲載の内容に関するお問い合わせは下記へお願いします。
Tel.070-3946-9796 e-mail : okscocoron@yahoo.co.jp



歳末たすけあい・地域支えあい募金 ご協力ありがとうございました

今年度も、奥沢交和会、東玉川町会、民生・児童委員協議会の皆様にご協力いただき492,000円の募金をお寄せ頂きました。

募金の一部は、支援を必要とする方へのお見舞金・お祝い金、在宅で高齢者、障害者を介護している方へのお見舞金としてお届けすることができました。そのほか、地域福祉の充実を図るため、翌年度の地域福祉活動費(ふれあい・いきいきサロン活動補助費、子ども食堂等への運営支援金等)に充てられます。皆様の温かいご理解とご協力に深く感謝いたします。

★食で応援プロジェクト★

12月10日(日)・12月11日(月)に、奥沢交和会、東玉川町会、奥沢地区ごみ減量・リサイクル推進委員会の共催で今年度2回目の「食で応援プロジェクト」を開催しました。自転車で持ち込んでくださる方も多く、前回開催時より全体で10人増え、今回も多くの食品(お米約55kg、麺類約35kg、レトルト食品約20kg他)の寄付をいただきました。温かいご支援ご協力に感謝いたします。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



バス研修開催できました



見学受け入れ先の事情によりなかなか開催出来なかったバス研修でしたが、2月9日(金)に4年振りに開催することができました。今回の訪問先は、町田市成瀬にある社会福祉法人「地の星」です。今から38年前に「ハンディを持つ人々と共に生き寄り添う支援」を基本理念に創立され、以降活動の範囲を広げてきています。その中の「生活介護ベロニカ苑」と「就労継続支援B型ベロニカ苑Ⅱ」の2ヶ所の施設を詳しく案内していただき、ハンディを持った人々が色々な活動や様々な仕事をしている様子も拝見、また利用者の方々が作り販売しているパンもたくさん購入したりなど、福祉施設の現場の実情をより深く知ることができた研修でした。